

1 「攻めの農林水産業」の推進

「攻めの農林水産業」とは？

青森県の農林水産業は、全国トップの生産量を誇るりんご、にんにく、ごぼうをはじめ、多様で豊富な農林水産物を生産し、県経済や地域社会を支える基幹産業となっています。

「攻めの農林水産業」は、夏季冷涼な気候、緑豊かな森林、三方を囲む海など、恵まれた地域特性を生かし、未来につながる「水」「土」「人」の3つの基盤づくりを進めながら、「消費者起点」に立った安全・安心で高品質な農林水産物やその加工品を生産し、強力で売り込んでいくという販売を重視する振興策です。

第4期「攻めの農林水産業」推進基本方針（実施期間2019年～2023年度）では、人口減少・高齢化の進行や経済のグローバル化の進展など、取り巻く環境変化にも対応しながら、農林水産業の持続的成長と共生社会の実現を目指し、収益力強化のための「産業政策」と、共助・共存の農山漁村づくりに向けた「地域政策」を好循環させる施策を5つの柱に基づいて展開していきます。

基本理念

取り巻く環境の変化

施策体系「5つの柱」

消費者起点



いのちの源 育む礎 支える力

- 人口の減少・高齢化の進行
- 経済のグローバル化の進展
- 世界における食関連市場の拡大
- 消費者構造やニーズの変化
- 高度情報化と技術革新の進展
- 農山漁村への新しい人の流れ
- 様々な危機事象の発生
- SDGsの理念を踏まえた施策の展開

1 消費動向の変化を見据えた販売戦略の展開

販売力強化

- ①本県ならではのブランド価値の高い商品や商品の創出
- ②国内外市場における成長分野等への販路開拓
- ③ターゲットに応じた多彩な情報発信・拡散による青森県産ブランドの浸透
- ④信頼構築の基礎となる地産地消の推進
- ⑤付加価値の増大に向けた食品産業の強化

施策の展開方向



地域の共助・共存が経済成長を下支え 経済的基盤に裏打ちされた地域づくり

共助・共存の農山漁村づくり

集落を支える多様な経営体の育成のほか、労働力不足や、コミュニティ機能の維持等、地域課題に取り組むソーシャルビジネスの創出等により共助・共存の仕組みをつくる。



2 労働力不足の克服と安全・安心・高品質生産

生産力向上

- ①国内外の競争を勝ち抜く産地力強化
- ②労働力不足に対応した生産体制の強化
- ③安全・安心を強みとした信頼される産地づくり
- ④労働負担軽減や気候変動に対応した研究開発の推進

3 山・川・海をつなぐ「水循環システム」の再生・保全

環境・生産基盤保全

- ①農林水産業の基盤となる「安全・安心な水資源」の確保
- ②豊かな地域資源を未来に引き継ぐ環境公共の推進

4 連携・協働・交流による活力ある農山漁村づくり

農山漁村振興

- ①人口減少・超高齢社会を支える仕組みづくり
- ②農泊を中心としたグリーン・ツーリズムの推進
- ③多様な分野との連携・協働による地域の活性化

5 農林水産業の成長と共生社会を支える人財育成

人財育成

- ①高い経営力を持った人財の育成
- ②青森県型地域共生社会を支える人財の育成
- ③農山漁村女性の活躍促進
- ④生産基盤の有効活用と組織の体質強化